

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)」は、2018年10月15日に第42期の決算を行いました。ここに作成期中(第37期から第42期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2025年4月15日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。 自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。 実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
主要運用対象	インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券※へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD 投資信託証券(英国ポンド建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券(マザーファンド受益証券を含みます)への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



運用報告書(全体版)

- 第37期(決算日 2018年5月15日)
- 第38期(決算日 2018年6月15日)
- 第39期(決算日 2018年7月17日)
- 第40期(決算日 2018年8月15日)
- 第41期(決算日 2018年9月18日)
- 第42期(決算日 2018年10月15日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率		
	円		円		%	百万円
13期(2016年5月16日)	9,923		20	0.7	95.0	50
14期(2016年6月15日)	9,951		20	0.5	91.0	51
15期(2016年7月15日)	10,072		20	1.4	101.7	56
16期(2016年8月15日)	10,274		20	2.2	89.6	58
17期(2016年9月15日)	10,208		20	△0.4	96.3	59
18期(2016年10月17日)	10,137		20	△0.5	91.0	59
19期(2016年11月15日)	10,005		20	△1.1	99.9	53
20期(2016年12月15日)	9,992		20	0.1	98.3	53
21期(2017年1月16日)	10,056		20	0.8	91.2	53
22期(2017年2月15日)	10,042		20	0.1	98.8	51
23期(2017年3月15日)	10,075		20	0.5	95.2	51
24期(2017年4月17日)	10,095		20	0.4	95.1	56
25期(2017年5月15日)	10,154		20	0.8	96.1	56
26期(2017年6月15日)	10,189		20	0.5	94.5	56
27期(2017年7月18日)	10,164		20	△0.0	97.5	56
28期(2017年8月15日)	10,209		20	0.6	95.7	57
29期(2017年9月15日)	10,181		20	△0.1	100.6	57
30期(2017年10月16日)	10,142		20	△0.2	95.4	56
31期(2017年11月15日)	10,155		20	0.3	98.1	56
32期(2017年12月15日)	10,165		20	0.3	98.4	56
33期(2018年1月15日)	10,165		20	0.2	98.4	54
34期(2018年2月15日)	10,027		20	△1.2	95.5	50
35期(2018年3月15日)	10,021		20	0.1	97.4	50
36期(2018年4月16日)	9,972		20	△0.3	100.4	49
37期(2018年5月15日)	9,954		20	0.0	98.7	49
38期(2018年6月15日)	9,898		20	△0.4	96.9	46
39期(2018年7月17日)	9,871		20	△0.1	99.6	46
40期(2018年8月15日)	9,845		20	△0.1	95.4	46
41期(2018年9月18日)	9,811		20	△0.1	99.5	92
42期(2018年10月15日)	9,755		20	△0.4	98.2	91

(注) 基準価額および分配金は1万円当たりです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第37期	(期 首) 2018年 4月16日	円 9,972		% -	% 100.4
	4 月末	9,971		△0.0	99.2
	(期 末) 2018年 5月15日	9,974		0.0	98.7
第38期	(期 首) 2018年 5月15日	9,954		-	98.7
	5 月末	9,909		△0.5	97.0
	(期 末) 2018年 6月15日	9,918		△0.4	96.9
第39期	(期 首) 2018年 6月15日	9,898		-	96.9
	6 月末	9,880		△0.2	96.1
	(期 末) 2018年 7月17日	9,891		△0.1	99.6
第40期	(期 首) 2018年 7月17日	9,871		-	99.6
	7 月末	9,856		△0.2	87.0
	(期 末) 2018年 8月15日	9,865		△0.1	95.4
第41期	(期 首) 2018年 8月15日	9,845		-	95.4
	8 月末	9,848		0.0	100.0
	(期 末) 2018年 9月18日	9,831		△0.1	99.5
第42期	(期 首) 2018年 9月18日	9,811		-	99.5
	9 月末	9,801		△0.1	100.8
	(期 末) 2018年10月15日	9,775		△0.4	98.2

(注) 基準価額は1万円当たりです。

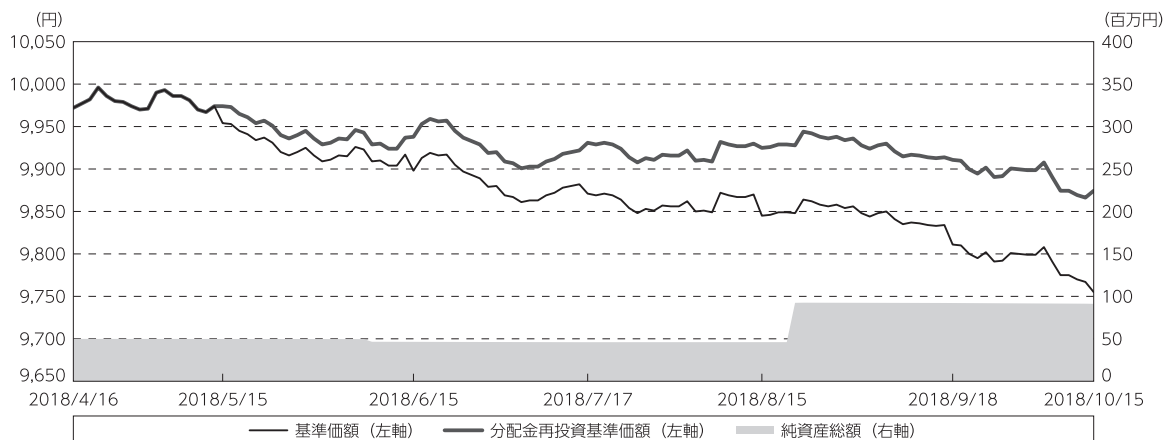
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年4月17日～2018年10月15日)



第37期首：9,972円

第42期末：9,755円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：△ 1.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年4月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・①英国の欧州連合(EU)離脱(ブレグジット)交渉の進展への期待、②米国を中心とする主要国における金融政策の正常化—などを受け、作成期末にかけて英国国債利回りが上昇(債券価格は下落)したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行ったため、英国ポンドと円の金利差によるヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

英国2年国債	0.82%	(前作成期末 0.92%)	英国5年国債	1.17%	(同 1.20%)
英国10年国債	1.61%	(同 1.46%)	英国ポンド/円	146円86銭	(同 153円28銭)

※上記は作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、英国10年国債利回りは上昇しました。作成期初より、①購買担当者景気指数(PMI)などの一部経済指標の市場予想に対する下振れ、②中央銀行のイングランド銀行(BOE)による政策金利の据え置き一などから、金利は低下(債券価格は上昇)基調となりました。2018年夏場にかけては、良好な経済指標を背景とした利上げ期待が高まる一方で、貿易戦争やイタリア情勢、EUとのブレグジット交渉の先行きへの懸念などが足かせとなり、金利は一進一退の動きが続きました。8月下旬には、貿易問題やブレグジット交渉への過度な警戒感が後退し、金利は上昇に転じました。その後はイタリアの財政赤字拡大やブレグジット交渉への懸念をめぐって神経質な展開が続きましたが、10月初旬になると①ブレグジットの合意が近いとの観測、②米国金利の急上昇一などから英国金利は大きく上昇しました。作成期末にかけては、金利の上昇を受けて株式市場が下落したことや、イタリアの財政赤字拡大などへの懸念が再燃したことから金利は低下に転じたものの、作成期末時点の英国10年国債利回りは前作成期末を上回りました。

<為替市場>

当作成期間中、英国ポンドは対円で下落しました。作成期初から2018年夏場にかけては、利上げ期待の後退やイタリアをはじめとする政局不安を受けたユーロ安に連れ、英国ポンドは円に対し下落しました。8月中旬にはブレグジット交渉合意に向けての進展期待をきっかけに円安/英国ポンド高に転じましたが、当作成期を通じてみると円高/英国ポンド安で作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド(以下、マザーファンドといたします。)を高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)(以下、マネープール・ファンドといたします。)を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

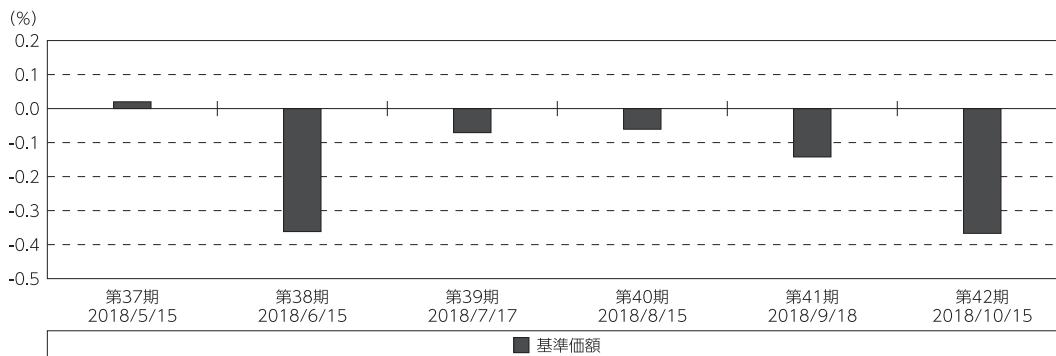
マザーファンドでは、主としてアイルランド籍外国投資信託インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)およびルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)に投資を行いました。両外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーション(金利感応度)などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、ハイイールド社債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、市場下落時に備えてキャッシュや先進国国債などの流動性資産も一部組み入れました。また、ポートフォリオのデュレーションは引き続き英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。下記のグラフは、当作成期中の当ファンドの期別基準価額騰落率(分配金込み)です。

基準価額(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第37期から第42期まで1万口当たり20円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	2018年4月17日～ 2018年5月15日	2018年5月16日～ 2018年6月15日	2018年6月16日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月15日	2018年8月16日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.201%	20 0.202%	20 0.202%	20 0.203%	20 0.203%	20 0.205%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	20	20	20	20	20	20
翌期繰越分配対象額	8,607	8,651	8,631	8,611	8,670	8,665

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円を為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。現在、デュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しています。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えています。劣後債は保険会社、公益セクターおよび通信セクターでも投資を行っており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、キャッシュや先進国国債などの流動性資産を多く保有しており、市場の価格変動性が高まる環境下ではプラスに作用すると考えています。これらの流動性資産を用いて、リスク調整後の利回りが魅力的であると判断した投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年4月17日～2018年10月15日)

項 目	第37期～第42期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	44	0.447	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.081)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.350)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.053	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.012)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.040)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	49	0.500	
作成期間の平均基準価額は、9,877円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(親投資信託を除く)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月17日～2018年10月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第37期～第42期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	千口 56,527	千円 48,431	千口 9,179	千円 8,198

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月17日～2018年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年10月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第36期末		第42期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
インベスコ	マネーパブル・ファンド(適格機関投資家私募投信)		50		50	49	0.1
	合 計		50		50	49	0.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘	柄	第36期末		第42期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
インベスコ	英国ポンド建て債券 マザーファンド		54,798		102,146	90,634

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年10月15日現在)

項 目	第42期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	49	0.1
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	90,634	99.1
コール・ローン等、その他	819	0.8
投資信託財産総額	91,502	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(1,355,796千円)の投資信託財産総額(1,373,936千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月15日における邦貨換算レートは、1英ポンド=146.86円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末
	2018年5月15日現在	2018年6月15日現在	2018年7月17日現在	2018年8月15日現在	2018年9月18日現在	2018年10月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	97,669,871	90,548,744	90,835,279	89,010,110	181,987,336	178,111,038
投資信託受益証券(評価額)	49,895	49,890	49,885	49,880	49,880	49,875
インベスコ 英国ポンド建て債券 マチーフンド(評価額)	50,226,255	46,227,937	47,054,576	44,822,100	94,276,406	90,634,419
未収入金	47,393,721	44,270,917	43,730,818	44,138,130	87,661,050	87,426,744
(B) 負債	47,889,724	44,085,954	44,732,201	42,970,426	89,939,650	86,914,306
未払金	47,749,920	43,950,345	44,598,129	42,840,144	89,673,254	86,608,816
未払収益分配金	100,019	93,884	93,415	93,525	187,651	186,972
未払解約金	—	—	—	—	—	50,408
未払信託報酬	35,529	37,260	36,299	32,819	70,302	60,800
その他未払費用	4,256	4,465	4,358	3,938	8,443	7,310
(C) 純資産総額(A-B)	49,780,147	46,462,790	46,103,078	46,039,684	92,047,686	91,196,732
元本	50,009,656	46,942,022	46,707,613	46,762,857	93,825,563	93,486,112
次期繰越損益金	△ 229,509	△ 479,232	△ 604,535	△ 723,173	△ 1,777,877	△ 2,289,380
(D) 受益権総口数	50,009,656口	46,942,022口	46,707,613口	46,762,857口	93,825,563口	93,486,112口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,954円	9,898円	9,871円	9,845円	9,811円	9,755円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注) 当ファンドの第37期首元本額は49,952,645円、第37～42期中追加設定元本額は47,372,290円、第37～42期中一部解約元本額は3,838,823円です。

(注) 2018年10月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,289,380円です。

○損益の状況

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	2018年4月17日～ 2018年5月15日	2018年5月16日～ 2018年6月15日	2018年6月16日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月15日	2018年8月16日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	49,247	△ 128,095	6,409	12,411	△ 77,639	△ 262,792
売買益	1,739,298	698,488	1,185,925	2,165,299	3,565,934	2,813,736
売買損	△ 1,690,051	△ 826,583	△ 1,179,516	△ 2,152,888	△ 3,643,573	△ 3,076,528
(B) 信託報酬等	△ 39,785	△ 41,725	△ 40,657	△ 36,757	△ 78,745	△ 68,110
(C) 当期損益金(A+B)	9,462	△ 169,820	△ 34,248	△ 24,346	△ 156,384	△ 330,902
(D) 前期繰越損益金	2,285,606	2,151,737	1,969,749	1,935,467	1,910,695	1,746,804
(E) 追加信託差損益金	△ 2,424,558	△ 2,367,265	△ 2,446,621	△ 2,540,769	△ 3,344,537	△ 3,518,310
(配当等相当額)	(34,254,272)	(32,069,051)	(31,825,443)	(31,779,847)	(72,215,136)	(71,773,078)
(売買損益相当額)	(△36,678,830)	(△34,436,316)	(△34,272,064)	(△34,320,616)	(△75,559,673)	(△75,291,388)
(F) 計(C+D+E)	△ 129,490	△ 385,348	△ 511,120	△ 629,648	△ 1,590,226	△ 2,102,408
(G) 収益分配金	△ 100,019	△ 93,884	△ 93,415	△ 93,525	△ 187,651	△ 186,972
次期繰越損益金(F+G)	△ 229,509	△ 479,232	△ 604,535	△ 723,173	△ 1,777,877	△ 2,289,380
追加信託差損益金	△ 2,524,577	△ 2,461,149	△ 2,540,036	△ 2,634,294	△ 3,532,188	△ 3,705,282
(配当等相当額)	(34,154,253)	(31,975,226)	(31,732,028)	(31,686,322)	(72,027,514)	(71,586,227)
(売買損益相当額)	(△36,678,830)	(△34,436,375)	(△34,272,064)	(△34,320,616)	(△75,559,702)	(△75,291,509)
分配準備積立金	8,893,871	8,636,333	8,583,310	8,583,161	9,323,237	9,420,033
繰越損益金	△ 6,598,803	△ 6,654,416	△ 6,647,809	△ 6,672,040	△ 7,568,926	△ 8,004,131

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
(A) 配当等収益(費用控除後)	0円	297,898円	0円	0円	741,989円	136,691円
(B) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	34,254,272	32,069,110	31,825,443	31,779,847	72,215,165	71,773,199
(D) 分配準備積立金	8,893,871	8,338,435	8,583,310	8,583,161	8,581,248	9,283,342
分配可能額(A+B+C+D)	43,148,143	40,705,443	40,408,753	40,363,008	81,538,402	81,193,232
(1万口当たり分配可能額)	(8,627)	(8,671)	(8,651)	(8,631)	(8,690)	(8,685)
収益分配金	100,019	93,884	93,415	93,525	187,651	186,972
(1万口当たり収益分配金)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)

○分配金のお知らせ

	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
1万口当たり分配金(税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○約款変更のお知らせ

- ・付表に規定する「別に定める投資信託証券」の追加および「別に定める日」にかかる記載を変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2018年7月12日)



運用報告書

第7期

決算日 2018年10月15日

(計算期間：2018年4月17日から2018年10月15日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none">・別に定める投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資をすることにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。・実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	別に定める投資信託証券※ ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）です。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
	円		%	%	百万円
3期(2016年10月17日)	7,379		△13.5	98.8	1,479
4期(2017年4月17日)	8,022		8.7	98.5	1,875
5期(2017年10月16日)	8,986		12.0	95.8	1,962
6期(2018年4月16日)	9,268		3.1	98.4	1,768
7期(2018年10月15日)	8,873		△4.3	98.8	1,372

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率
		騰	落 率	
(期 首)	円		%	%
2018年4月16日	9,268		—	98.4
4月末	9,207		△0.7	98.1
5月末	8,735		△5.8	99.0
6月末	8,744		△5.7	98.0
7月末	8,820		△4.8	87.0
8月末	8,765		△5.4	98.6
9月末	8,985		△3.1	97.7
(期 末)				
2018年10月15日	8,873		△4.3	98.8

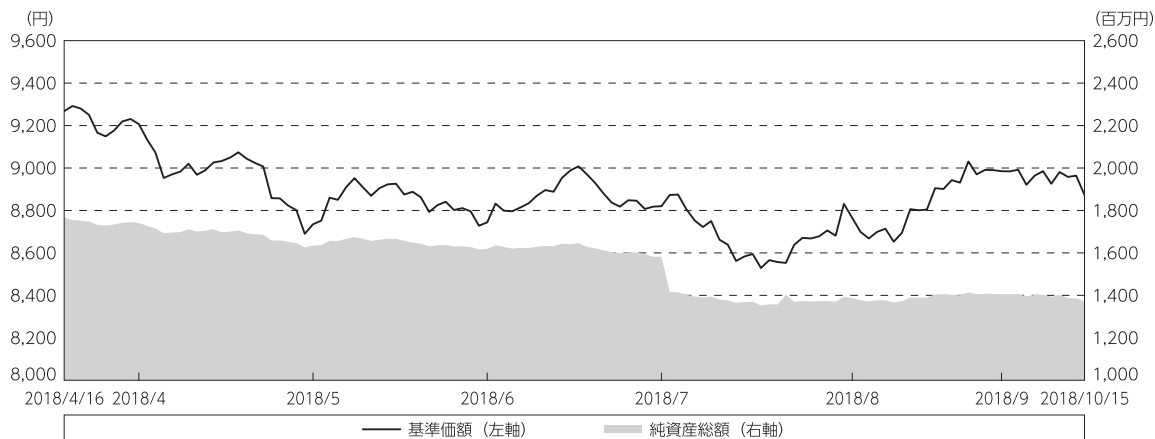
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年4月17日～2018年10月15日)



期首：9,268円
 期末：8,873円
 騰落率：△ 4.3%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン（利息収入）が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・①英国の欧州連合（EU）離脱（ブレグジット）交渉の進展への期待、②米国を中心とする主要国における金融政策の正常化—などを受け、期末にかけて英国国債利回りが上昇（債券価格は下落）したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、英国ポンドが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

英国2年国債 0.82% (前期末 0.92%)
 英国10年国債 1.61% (同 1.46%)

英国5年国債 1.17% (同 1.20%)
 英国ポンド/円 146円86銭 (同 153円28銭)

※上記は当期末の数値です。

<債券市場>

当期中、英国10年国債利回りは上昇しました。期初より、①購買担当者景気指数（PMI）などの一部経済指標の市場予想に対する下振れ、②中央銀行のイングランド銀行（BOE）による政策金利の据え置き一などから、金利は低下（債券価格は上昇）基調となりました。2018年夏場にかけては、良好な経済指標を背景とした利上げ期待が高まる一方で、貿易戦争やイタリア情勢、EUとのブレグジット交渉の先行きへの懸念などが足かせとなり、金利は一進一退の動きが続きました。8月下旬には、貿易問題やブレグジット交渉への過度な警戒感が後退し、金利は上昇に転じました。その後はイタリアの財政赤字拡大やブレグジット交渉への懸念をめぐって神経質な展開が続きましたが、10月初旬になると①ブレグジットの合意が近いとの観測、②米国金利の急上昇一などから英国金利は大きく上昇しました。期末にかけては、金利の上昇を受けて株式市場が下落したことや、イタリアの財政赤字拡大などへの懸念が再燃したことから金利は低下に転じたものの、期末時点の英国10年国債利回りは前期末を上回りました。

<為替市場>

当期中、英国ポンドは対円で下落しました。期初から2018年夏場にかけては、利上げ期待の後退やイタリアをはじめとする政局不安を受けたユーロ安に連れ、英国ポンドは円に対し下落しました。8月中旬にはブレグジット交渉合意に向けての進展期待をきっかけに円安/英国ポンド高に転じましたが、期を通じてみると円高/英国ポンド安で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

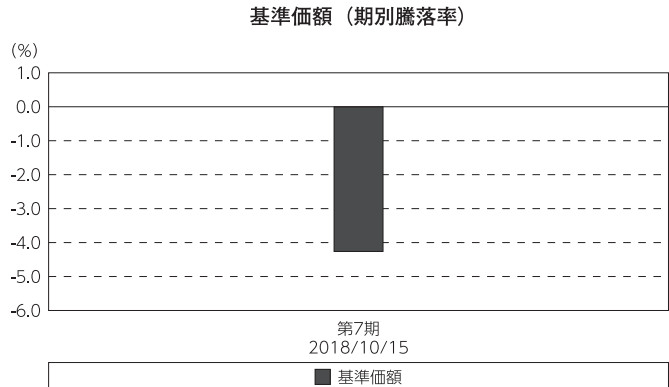
主としてアイルランド籍外国投資信託インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD 投資信託証券（英国ポンド建て）およびルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）に投資を行いました。両外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーション（金利感応度）などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、ハイイールド社債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、市場下落時に備えてキャッシュや先進国国債などの流動性資産も一部組み入れました。また、ポートフォリオのデュレーションは引き続き英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しました。

実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラス C-QD投資信託証券（英国ポンド建て）に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンのバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。現在、デュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しています。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えています。劣後債は保険会社、公益セクターおよび通信セクターでも投資を行っており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、キャッシュや先進国国債などの流動性資産を多く保有しており、市場の価格変動性が高まる環境下ではプラスに作用すると考えています。これらの流動性資産を用いて、リスク調整後の利回りが魅力的であると判断した投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。

実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わない方針です。

○当ファンドのデータ

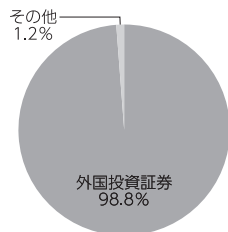
(2018年10月15日現在)

【組入上位ファンド】

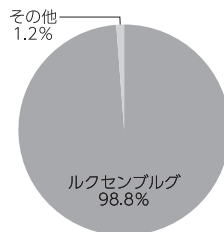
銘柄名	第7期末
インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD	98.8 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

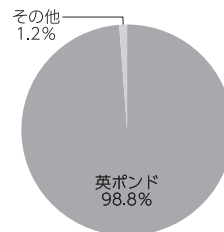
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年4月17日～2018年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、8,876円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月17日～2018年10月15日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	千口	千英ポンド	千口	千英ポンド
イギリス				
アイルランド籍 インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD	18	189	234 (860)	2,450 (9,045)
ルクセンブルグ籍 インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD	33 (860)	350 (9,045)	—	—
小 計	52 (860)	539 (9,045)	234 (860)	2,450 (9,045)

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) ()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月17日～2018年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年10月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	千口	千口	千英ポンド	千円	%
アイルランド籍 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD	1,077	—	—	—	—
ルクセンブルグ籍 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD	—	894	9,231	1,355,796	98.8
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,077 1	894 1	9,231 —	1,355,796 <98.8%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 一印は組み入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2018年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,355,796	% 98.7
コール・ローン等、その他	18,140	1.3
投資信託財産総額	1,373,936	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,355,796千円）の投資信託財産総額（1,373,936千円）に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月15日における邦貨換算レートは、1英ポンド=146.86円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,394,493,688	
コール・ローン等	18,133,586	
投資証券(評価額)	1,355,796,062	
未収入金	20,564,040	
(B) 負債	22,229,568	
未払金	20,557,600	
未払解約金	1,671,919	
未払利息	49	
(C) 純資産総額(A-B)	1,372,264,120	
元本	1,546,495,846	
次期繰越損益金	△ 174,231,726	
(D) 受益権総口数	1,546,495,846口	
1万口当たり基準価額(C/D)	8,873円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額 1,907,750,462円
 期中追加設定元本額 115,355,382円
 期中一部解約元本額 476,609,998円
- 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型) 1,437,337,425円
 インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド <為替ヘッジあり> (毎月決算型) 102,146,309円
 インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド <アクティブヘッジ> (毎月決算型) 7,012,112円
 合計 1,546,495,846円
- 元本の欠損
 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は174,231,726円です。

○損益の状況 (2018年4月17日～2018年10月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	27,793,804	
受取配当金	27,808,715	
支払利息	△ 14,911	
(B) 有価証券売買損益	△103,196,415	
売買益	6,440	
売買損	△103,202,855	
(C) 保管費用等	△ 6,922	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 75,409,533	
(E) 前期繰越損益金	△139,716,149	
(F) 追加信託差損益金	△ 14,240,441	
(G) 解約差損益金	55,134,397	
(H) 計(D+E+F+G)	△174,231,726	
次期繰越損益金(H)	△174,231,726	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- 付表に規定する「別に定める投資信託証券」を追加するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2018年7月12日)

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド

「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

当ファンドは、「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」が投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）です。

なお、当ファンドは、インベスコ・グループが運営するアイルランド籍ファンドとルクセンブルグ籍ファンドの統合に伴い、「アイルランド籍外国投資信託 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」が2018年10月5日付で統合され運用を開始したものです。当ファンドの統合後の初回決算は2019年2月28日となる予定であり、このため当ファンドの状況については、該当事項はありません。

○ファンドの仕組み

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	英国ポンド建ての公社債に投資します。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、英国ポンド建ての公社債に投資することにより、収益の確保および投資信託財産の長期的な成長を目指します。 ・原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資します。 ・投資適格債券を主要投資対象としますが、純資産総額の50%を超えない範囲でハイ・イールド債券に投資することがあります。 ・投資目的および効率的な運用のため、デリバティブ取引を行うことがあります。 ・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
管理会社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド
決算日	毎年2月末日
分配方針	分配は2月、5月、8月および11月の最終営業日に行われ、翌月の11日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

2017年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2016年11月22日～2017年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△2,187
支払利息	△2,187
(B) 信託報酬等	△ 64
(C) 当期損益金(A+B)	△2,251
(D) 前期繰越損益金	△1,789
(E) 追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
(F) 計(C+D+E)	△3,965
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△3,965
追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
分配準備積立金	49
繰越損益金	△4,089

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46円)および分配準備積立金(49円)より分配対象収益は95円(1万円当たり0.39円)となりましたが、基準価額水準、市場動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。